

候補者の演説に集まった有権者たち



環境、まちづくり、福祉こうして

舞鶴市長選 候補者に望む

舞鶴市長選は終盤戦に入つた。環境、まちづくり、国際交流、福祉の分野で活動する人たちに市政の課題を聞いた。

【千葉修平】

50年先を見据えた環境対策を
京都大農学研究科付属水産実験所助手の益田玲爾さん(37) 舞鶴は自然豊かで、市民の環境への

意識も高いと感じる。一方で大型開発で舞鶴湾の姿は急激に変化し、バランス面で不安を感じる。

次世代に今の自然を引き継げるよう、50年先を見

据えた環境対策が必要では。まちづくり支援体制の充実を

舞鶴青年会議所理事長の小山剛さん(39) 市民主導の街づくりを進めるためにも、イベントなどを市民主体で行う形がもつと増えてほしい。受け

自然引き継いで／少子化対策を

会設立のワークショップに参加し、外国人との交流や情報提供を行う組織作りをしている。市民中

心の交流を根付かせるためにも、例えば社会人を含む交換留学制度を創るなど、市民の関心を高める工夫が必要では。